

■ ■  
市が洞小学校区  
地域共生ステーション  
づくりワークショップ

第1回の報告です！  
わたしたちのまちの居場所を考えよう！

# 通信 01



## 全4回プログラム

(場所 | 旧長湫南部土地区画整理組合事務所)

★第1回 (2/21 (日) 9:30 ~ 11:30)

何のための地域共生ステーション??  
～市民主体の多世代居場所づくりとは～

第2回 (3/13 (日) 9:30 ~ 11:30)

こんな地域共生ステーション、つくりたいナ!  
～使い方イメージと設計の前提条件を考える～

第3回 (3/27 (日) 9:30 ~ 11:30)

色々な設計案を吟味しよう!  
～自分たちが使いやすい空間を考える～

第4回 (4/17 (日) 9:30 ~ 11:30)

設計案のまとめと運営のあり方  
～自分たちで、自分たちの居場所を運営するには～

現在旧長湫南部土地区画整理組合事務所を改修し、市が洞の地域共生ステーションをつくる計画があります。地域共生ステーションとは、地域で気軽に集い、語らい、地域の様々な課題に対する取組を行うための拠点となる「場」です。この施設を皆さんで考えつくっていくためのワークショップが始まりました。(全4回)

第1回目には約60名の多世代の方が集まり、みなさん熱心に参加されていました。

### ●長久手市暮らし文化部長 高嶋さんよりあいさつ

区画整理事業で新しくできたこの地区で、様々なまちづくり活動の拠点となる「地域共生ステーション」の基本設計にあたり、地域住民が誇りと愛着をもてる場づくりのため、地域住民の皆さんと市や設計者が協働して、意見やアイデアを盛りだくさんにいただけるようよろしくお願いします。



## ● 幻燈会「こんな地域共生ステーションがいいナ」



まず、延藤安弘さん(NPO 法人まちの縁側育くみ隊代表理事)からスライドを映写しながらのお話「幻燈会」がありました。延藤さんには、長年全国各地の住民主体のまちづくりにたずさわってきた経験から、地域の居場所づくりのイメージを喚起する事例を紹介していただきました。

### 1 何のための地域共生ステーションから



—絵本『わたしたちのてんごくバス』（ボブ・グレアム、オーストラリア）より

地域に捨てられたおんぼろバスを資源とみなして地域の皆で居場所にしていくストーリー。きっかけは少女ステラの“わたしたちのものよ！”のひとこと。みんなが地域共生ステーションを「わたしたちの居場所」と思えるには・・・？  
たくさんのヒントがつまっていました！

### 2 小学校区単位のまちづくり自治の拠点を育もう



— 50年間住民主体のまちづくりを持続する真野地区（神戸市）より

公害、ヤクザ、震災、、、様々なトラブルを住民たちで乗り越えてきた真野地区の人たち。その活動の中心にはいつも一緒に食べたり笑ったりのコミュニケーションの場がありました。地域自治を今後時をかけて育てていきたいと思います！

### 3 多世代が混ざりあう居場所を営もう—まちの縁側GOGO！（名古屋市東区）

世代別の集まりじゃなく、子どもからお年寄りまで、一緒にいいですね！



### 4 外部空間は子どもと大人、車と緑等の折り合いのいい、楽しい居場所にしよう



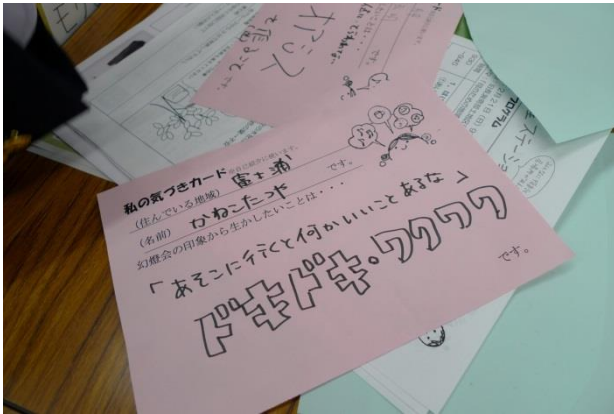
## ● グループワーク希望の木と不安の木「市民主体の多世代居場所づくりのために」

施設への希望と不安を分かち合いました。「こんな居場所がいいな」「空間はこんな風がいいな」「住民責任ある自由な運営に期待」など、様々な希望が寄せられました。また、「住民でどこまで運営できるのか」といった不安などもありました。子ども、子育て真っ最中のお母さん、お父さん、地域の長老、大学生、様々な方がそれぞれの立場から意見を出し合いました。※詳しい内容はP3以降をご覧ください。

〈ワークの様子〉

### 1)まずは自己紹介

「やっとまちづくりが身近に感じられてワクワクしています！」など、みなさんの前向きな雰囲気が印象的です。



2)希望の葉、不安の葉のカードに意見を書いて話し合い、グループ毎に木を茂らせていきます。



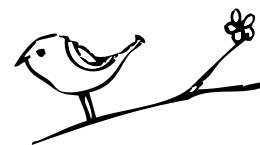
### 3)全体発表

最後にグループで出た意見を全体で共有しました。



# 「希望の木・不安の木」に寄せられたつづやき集

当日は7グループに分かれて意見を出し合い、各班毎に「希望の木、不安の木」をつくりました。ここでは全ての話題を網羅して紹介できるように、全体で整理したものです。



希望の木

## 地域の拠点として

- ・ みんなが安心して“本能”を発揮できる。そのきっかけに出会える場所。
- ・ 長久手名産を創ろう(モノ、コト、クウカンなど何でもあり)
- ・ 自然との共生をベースに、この街から離れたくないと思える思い出の里山づくり
- ・ 自己責任で自由度の高い活動ができる”こと

## こんな居場所がいいナ



### いつでも 気軽に

- ・ いつでも集まれる場所があり、何事も話し合える交流
- ・ いつも誰か(知り合い)がいて安心できる場所になったらいいナ
- ・ 用事がなくてもふらっと立ち寄ってゴロゴロできる気軽な場
- ・ 人が通る、あいさつと会話がうまれる場



### 情報交換 ・相談の場

- ・ 地域のことがわかる場
- ・ 悩みも相談しやすい共生ステーションになってほしい
- ・ 簡単なこと(相談)は市民がこたえる
- ・ 同好会や趣味グループでなく、各グループ様々なつながりがある場所



### 食

- ・ 食は「楽」の基本！キッチン欲しい！
- ・ バーバーズ居酒屋 in 長久手そこにジージーズが集まるのかな？
- ・ 夜は居酒屋！いろんな人がふらっと来れて、好きなことを話せる！
- ・ コーヒー、喫茶、カラオケ
- ・ 持ち寄りご飯で地域の食事ができると良い
- ・ もちよりモーニング



### イベント

- ・ 地域の中で多様・継続的な体験ができるように
- ・ 多くのイベントを開催したい



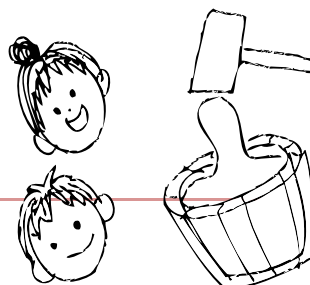
### 文化・芸術 ・音楽

- ・ 待ちました！青い空、緑々、おばあちゃん、子どもがうたう♪歌いっばいのステーション
- ・ 小さな音楽会をやりたい(参加者が持ち寄った楽器で即興音楽会)
- ・ 子連れでも気軽に音楽に触れ合うことのできる場所(コンサートなど)
- ・ 地域を舞台にした映画を作って、ステーションで上映したい(監督、脚本、演者すべて地域の人)



### 自然体験

- ・ 丸太の家で行われている活動を共生ステーションにもってこれないか
- ・ 田植え→稲刈り→餅つき
- ・ 里山クラブのような活動をしたい
- ・ 敷地内に螢を育てたい
- ・ 野鳥観察



## こんな空間がいいナ



### 建物全体

- ・ 機能の固定化の懸念、利用者の属性が変わった場合に柔軟に設えがかわるといい
- ・ ユニバーサルデザインに
- ・ 長久手らしい「木のぬくもり」と緑を残した場所に。木質の空間に。



### フリースペース

- ・ 自由に使える・オープンスペース
- ・ ゆっくりお茶ができるスペースがほしい
- ・ 老人の雑誌コーナー
- ・ 工作できる交流の間(こどもとお年寄りが一緒に何かをやるスペース)
- ・ 24時間使えるスペース



### 情報コーナー

- ・ 利用者の意見を常に反映できる伝言板
- ・ きちんと回収して伝わること



### キッチン

- ・ キッチンがありテーブルがある(食育)
- ・ 水場が必須



### ほとぎのさと展示

- ・ ほとぎのさと展示スペースは必須と思います



### 集会など

- ・ 70名が会議できる所が必要
- ・ ワークショップ(習い事、講座等)



### 防災機能

- ・ 防災機能を備えて欲しい



### オープンデッキ

- ・ 憩いの場となるオープンデッキで素晴らしい景色を見て、ワインでも…
- ・ 屋外にもテーブルがあるといいな
- ・ みんなでバーベキューもしたい!



### 周辺とのつながり

- ・ 池という魅力的な場所を使いたい
- ・ 四季を感じられ外でも遊べる場
- ・ 駐車場用地をキャッチボール程度ができる規制のない広場にしたい。



### 菜園花壇

- ・ 菜園や花壇は子どもの目に触れる所にあった方がよい。
- ・ 植物、野菜を育てたい

五十戸

## こんな「人のつながり」が生まれるといいナ



### 多世代交流

- ・ 老人の知恵に触れ、子どもたちの心がおだやかになる。
- ・ 悪がき&悪ジジババ育成
- ・ お酒を飲んで語り合う場がほしい
- ・ 世代を超えて集まれる場になると良い



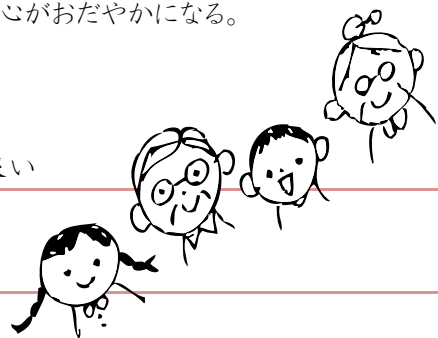
### お年より






- ・ 老人の行動を助ける場
- ・ 子守の手伝いができる



### 子ども

- ・ こどもが主役の場所
- ・ 子ども達の見守りの場に。放課後子どもの居場所がない。
- ・ 中学生、高校生がふらっと寄れると良い(中高生が小学生に勉強を教える)
- ・ 家庭、学校以外の安全な居場所。第三の居場所



		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと大学生が触れ合える場所(小学校と大学の連携)</li> </ul>
	<b>子育て世代</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学童保育所に通っている子供たちも父母も交流ある。つながりが広がる</li> <li>子育て世代のコミュニケーション、息抜きできる場所</li> <li>急な用事で困った時、小さな子どもを、安心して一時的に預けられる場所</li> </ul>
	<b>若い世代</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人の発想が活かされる場</li> <li>現役世代、働き世代も主体的に関われる場所</li> </ul>
	<b>各グループ間ネットワーク</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同好会や趣味グループでなく、各グループ様々なつながりがある場所</li> </ul>
	<b>障がい者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の地域参加</li> </ul>
<b>住民主体の運営について</b>		
	<b>市が洞のローカルルール</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「責任」について考えながらいろいろチャレンジできる場所</li> <li>地域のみんながさんかできる</li> <li>管理者を置かなくても、鍵を順番に回していきながら、隣近所の人が責任持って管理していくスペース</li> </ul>








朝からモーニングで地域のたまり場に！



安全性、運営管理、自然保護、不安も…



不安の木

まちづくり全体の課題の中に位置づける		
	<b>全体目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体の将来ビジョンが見えない</li> <li>若い街ニ魅力⇄課題</li> </ul>
	<b>つながり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間のつながりがうすい</li> <li>自治会加入率低下</li> <li>地域の年齢格差が大きい</li> <li>意識のバリアフリーをなくせるか？</li> </ul> 
	<b>安心・安全</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時、一人暮らしのなったときの不安(買い物・病院)</li> <li>防犯</li> <li>震災があった時に助け合える関係性がつくれるか</li> </ul>
	<b>子ども</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の体力低下</li> </ul>
本当に利用されるか？		
	<b>広報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加への呼びかけ</li> <li>地域の集会所の使い方がわからない</li> </ul>
	<b>交流</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横のつながりがうすいけど、、、気軽に人は来るのか？</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結局利用できずにサビれる(のではないかな?)</li> <li>・ 地元の企業とのコラボ</li> </ul>
	<b>固定化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定の利用者だけが使わないように</li> </ul>
<b>住民による運営について</b>		
	<b>責任の範囲</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どこまで自己責任と言えるのか、市が関係しているのが不安</li> <li>・ 事故の責任の所在が分からない</li> <li>・ 公平性がどこまで保たれるか?</li> </ul>
	<b>担い手</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民による運営がどこまでできるのか不安</li> <li>・ リーダーが増えすぎてまとまりができない</li> <li>・ それぞれに役割ができ(ると)、それが重荷にならないかな...</li> <li>・ 運営資金</li> <li>・ ボランティアの確保</li> <li>・ 若い人たち・大学生の巻き込み</li> <li>・ 働き盛りをどうひっぱりか</li> <li>・ 人材育成の取り組みが必要(プロを呼んだイベント、いろんな世代に向けたイベント)</li> </ul> 
	<b>市の関わり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政の考えを押し付けられる場にならないか</li> <li>・ 市としての共生ステーションの在り方</li> </ul>
<b>管理運営について</b>		
	<b>安全面</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣の池、道路の安全面</li> <li>・ 施設内での事故・トラブル</li> <li>・ 飲食可能にした場合へのアレルギー対応</li> <li>・ 様々な人が行き交う。多様性を受け入れるがゆえのリスク</li> <li>・ 夜間の防犯大丈夫?</li> </ul>
	<b>管理面</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の維持・管理</li> <li>・ 使い方が固定化しないよう、時々ルールをリセットして、再構築する</li> <li>・ 営利目的な活動しないように</li> </ul>
	<b>学童とのつながり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学童保育所に通う子どもと一般の人々の交わりが心配</li> <li>・ 学童と違って、親の面識がないので、トラブルの解決が心配</li> </ul>
<b>空間について</b>		
	<b>周辺</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交差点が近く車が多い。交通事故防止をどうするか。</li> <li>・ 駐車スペースが限られていれ、それがゆえに車の出入りなど心配</li> <li>・ 調整池が汚れないように。生態系が崩れる</li> </ul>
	<b>建物</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭くないかな?</li> </ul>
	<b>キッチン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キッチンスペース、部屋がある場合、仕切りがないと不安(アレルギー)</li> </ul>
	<b>駐車場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場足りる?</li> </ul>
	<b>ほとぎのさと展示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力ある展示にしたいがオープンな面と管理は両立するか?</li> </ul>
<b>合意形成のプロセス</b>		
	<b>時間が足りない</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備・設計仕様はいつまでに決める? 話す時間十分か?</li> <li>・ 4回だけ?</li> </ul>

おなじみ！ 延藤せんせいのおなじみ！ 延藤せんせいのおなじみ！ 延藤せんせいのおなじみ！  
 頭顔要約法によるまとめ



最後に、延藤さんがこれからに向けて、今回出てきたつづやきをその場でまとめ、ふりかえりました。

- い** 色々な世代がふらっと立ち寄れる**気楽な居場所**  
 —おだやかなふれあいのあるまちの居場所
- ち** 地域を舞台に田植え・野鳥観察・上映会・音楽会を  
 —文化・芸術・うたと笑いがいっぱいのレストランへ
- が** 俄然**幼い子ども、中高生も**、可能性を広げて見守れる場  
 —未来の担い手づくり、**次世代**が戻ってくるまちに
- ほ** ほっとする**木と緑の中で**ゆっくりお茶ができるオープンデッキ  
 —また来たい！と思える中味のある場所
- ら** 楽々とおいしい食を共にできる**キッチン・テーブル・カフェ**  
 —もちよりモーニングや居酒屋は情報交換であり、  
 地域に携る人材育成の場
- ら** ラッキーな**古代ロマンの展示**を象徴的に！  
 —ほとぎのさと（五十戸）の集落単位をコミュニティの象徴として
- し** しんどい**管理運営**のトラブルをエネルギーに  
 —自由と責任
- い** いつも**誰かがいる安心**できる和みのある居場所  
 —管理運営の担い手育て
- い** いつも使える**フリースペース**と空間の**フレキシビリティ**  
 —使い方の固定化をこえよう
- ほ** **バリアフリー**は、空間だけでなく人の意識の育みを！  
 —心のバリアフリーと合意形成
- しよ** 諸問題の解き方を、常に市民発想で  
 —**住民主体運営**をじっくり育もう！

→(頭文字を結ぶと・・・)

**市が洞らしい居場所** —長久手名産！市が洞オリジナルはここからはじまる

### 【アンケートより】

#### 1) 本日の回について

- ・ いままですぐ身近であった長久手についての未来にたずさわれる事がすごくうれしいです。
- ・ 地域交流のきっかけができた
- ・ 色々な世代の方の思っている事、意見がきけた

#### 2) 幻燈会について

- ・ 神戸市の真野地区のように長い目で見ていきたい
- ・ 自分の責任で自由にあそぶという考え方
- ・ 先進的な取組が今後の話し合いのヒントになる

#### 3) グループワークや全体について

- ・ 既成の公的な施設とはちがう長久手らしい、心のよりどころになるステーションのイメージがたくさんあがり、ぜひ色々やってみたいと思った
- ・ ゴハン会（夜集まってアルコールもありで、一度どんなことになるか試したい）
- ・ 共生ステーションに対する住民の期待の大きさは予想以上だった

#### 4) その他

- ・ 4回のワークショップのロードマップ見えない
- ・ やっぱり4回は短い

『「市が洞地域共生ステーションづくりワークショップ」通信 No.01』

発行日：2016年3月13日

作成：NPO法人 まちの縁側育くみ隊

問合せ：長久手市暮らし文化部たつせがある課 (TEL: 0561-56-0602 (直通))